

# 第4回御前崎みなとかつお祭り

**カツオがない！前日までに開催が危ぶまれた**

今年是全国的にカツオの漁獲量が安定せず例年の半分以下、これは御前崎でも同じ状況だった。

南駿河湾漁業協同組合の荻田組合長は「このままでは祭りで提供するカツオが足りない。毎年この祭りを楽しみにしている人がたくさんいる。何としてもカツオを確保しなくては」と全国の関係者に協力を依頼するが、どこも不漁のため手に入らない。途方に暮れる中、1本の連絡が。「伊豆沖にいるカツオ船がカツオを漁獲したらしい」わらをもつかむ思いで漁船へ連絡をとった。「三重県の益栄丸が5トカツオを釣った。これで開催できる」と関係者らは胸をなでおろした。

本来休みの市場を臨時開催し、イベント当日の朝6時、750本のカツオを確保できた。

約1万8000人も来場者でにぎわった第4回みなとかつお祭り、漁業関係者らの熱い思いなくしてこの祭りは開催できなかっただろう。



①新鮮なカツオの刺身を振る舞う ②魚やエビに直接ふれあえたミニミニ水族館 ③カツオの刺身を口いっぱい頬張る ④生シラスの試食を求めて長蛇の列 ⑤模擬入札では市場の半値以下で高級食材をゲット